

2. 気候変動の長期目標の考え方(続)

影響閾値のタイプ分け(前回資料に加筆)

○ タイプ1の閾値

- ✓ ある点を越えると政策決定者が許容できないと考える被害をもたらす値(社会経済的な限界値)。
- ✓ 閾値関数: 線形、滑らかな変化。
- ✓ 例: 気候変動による食料不足、水不足、健康悪化等のリスクに曝される人口に関する許容可能な上限や、許容可能な生物多様性減少の程度など。
- ✓ 被害などの経済コスト算定、適応策により被害軽減が可能。

○ タイプ2の閾値

- ✓ 気候システム自身の主要なプロセスを安定なものとして維持するために越えてはならない値(地球物理学的、生物学的な限界値)。
- ✓ 閾値関数: 非線形、不連続な変化。
- ✓ 例: 気候システムを不安定にする熱塩循環の停止、非可逆的な海面上昇を引き起こす西南極氷床・グリーンランド氷床の融解、急激な温室効果ガスの放出を引き起こす永久凍土の融解など。
- ✓ 発生した場合の影響については知見がない。